

④③ 身近な自然を楽しむ: 春 (3,4 月) の花との出会い、花の名は?

Enjoy the surrounding nature: Encounter with flowers in Spring (March and April);
What 's name?

吉野輝雄

春になると花が爆発的に咲くといわれるが、確かに 3 月に入ると次々に新しい花が目
に映り、野外を歩いているとカメラを向ける回数も爆発的に増える。心もうきうきす
る。そんな気持ちに押されて新しい花の写真アルバムを作っている。私のアルバム作成
の基本方針は、季節の変化を告げる代表的な花を中心にして同種で色か形の異なる花を
選び、できるだけグループ分けして紙面に配置することになっている。最近のアルバムで
言えば、桜を種類 (原種: 山桜と人の手による交配種: 里桜) に大きく分け、それぞれ
の中から花の特徴をできるだけ示す角度から撮影した写真を選び、固有名をつけて配置
している。

ところが、実際にはただ一種しかない花がある。多種多様な花が次々と咲き出す春の
草花に多く見られる。そこで、43号では、そんな花たちを草木に分け、名前クイズと
した。各列の左側はよく知られている花、右側ほど名が知られてない花を並べた(が、右
端に小さな字で正解を記している: 遊びです)。

標準の文字サイズで示すと:

- ① サクラソウ(桜草) ・タチソボスミレ(立ち壺草) ・ニリンソウ(二輪草) ・ユキゲユリ(雪解百合)
- ② コヨメナ(子嫁菜) ・シャガ(射干) ・ツルニチニチソウ(蔓日々草) ・ナガミヒナゲシ(長美雛芥子)
- ③ ヤマブキ(山吹) ・シロヤマブキ(白山吹) ・ハナミズキ(花水木) ・ミズキ(水木)
- ④ ボタン(牡丹) ・シャクナゲ(石楠花) ・リキュウバイ(利休梅) ・ニオイロウバイ(匂い繻梅) ・ハナカイドウ(花海棠)
・ライラック(紫丁香花) ・ハリエンジュ(針槐) ・ナンジャモンジャノキ(一葉タゴ)

今号では個々の花について解説はしないが、以下の花について短く追記する。

- ・ **桜草**: 日本でも 300 種以上認定されているが、その中の**日本桜草**。さいたま市の荒川
河岸の田島ヶ原に自生していて国の特別天然記念物に指定されている。
- ・ **雪解百合**: 名前から想像できるが、まだ雪が残る地面から顔を出して咲く姿が白百合
のように見えることからつけられたと思われる。何ともロマン溢れる命名か。
- ・ **ナガミヒナゲシ**: 外来種のケシの花。961 年に世田谷区で確認されて以来、全国に広
がっている。繁殖力が強く 60cm にもなる。雑草も負けている姿を見かける。
- ・ **白山吹**: 山吹に似ているので名付けられたが、実は別種の植物。
- ・ **水木**: 根から水を吸い上げる力が強く、枝を切ると水が滴り落ちることから名づけら
れた。花水木と同種類 (ミズキ科)。
- ・ **リキュウバイ**: 清楚な白い花が茶人に好まれ千利休に因んで名付けられた。
- ・ **ニオイロウバイ**: 別名クロバナロウバイ。花が甘く香る(葉や枝にもある)。対称形で
美しい花の形はブローチのようだ。
- ・ **ナンジャモンジャノキ** (なんの木かわからない見慣れない木という意味)
別名**ヒトツバタゴ**。ギリシャ語名は雪の花を意味する。希少種のひとつ。三鷹市の天
然記念物 (芦花公園にも数年前から咲いている)。